

難病相談支援センター ネットワークシステム

ご利用ください!



[トップページ]

トップページからマニュアルがダウンロードできます

ネットワークシステムとは?

難病相談支援センターネットワークシステム(以下ネットワークシステム)とは、厚生労働省の補助事業として難病情報センターが開発・運営している、相談業務記録・管理、統計処理、センター間の情報共有・連携強化のための電子システムです。ネットワークシステムの導入・運用に係るセンター側の料金負担はありませんが、パソコンの準備、インターネット回線・通信料は各センターでご負担いただいております。

個人情報保護対策や被災時のバックアップにも!

ネットワークシステムは記録保存された相談票情報の漏えいや盗用・悪用防止のための高度なセキュリティシステムを備えています。記録データはクラウド上(インターネット上のサーバ)に保存されるので、パソコンが壊れてしまったりセンターが被災した場合も、最新の情報を復元することができます。

地域を越えたネットワーク構築を目指して

難病法の施行後、行政の支援対象となる難病(指定難病)が300疾患以上になり、極めて希少な疾患についてはこれまで構築された地域ネットワークだけでは対応が困難になることが予想されます。

ネットワークシステムでは相談支援員同士の情報共有や、個人情報保護に十分配慮した上で実際の相談記録を共有することが可能です。難病相談業務の円滑化・質の向上のため、地域を越えたネットワーク構築を目指しています。

使い方は簡単です

トップページには、支援ネットワークシステムマニュアルと掲示板マニュアルを掲載しています。このマニュアルをご覧になれば使い方はすぐにマスターできます。

万が一、使い方が分からない場合やネットワークシステムに不具合、トラブルが発生した場合には難病情報センターの担当者が親切に対応します。

ネットワークシステムに関する質問、導入をご検討される場合もご連絡ください。

【メール: network@nanbyou.or.jp

TEL:03-3257-9021 FAX:03-3257-4788】



難病相談支援センターの業務の効率化・情報共有を支援します

難病相談支援センター ネットワークシステム

便利な機能

1 相談フローに沿った相談票

相談票は相談の流れに沿って入力できるように項目が設定されています。よく利用する項目はプルダウンメニューから選択できるため入力の手間が省けます。相談区分項目の活用により、各センターの相談内容の動向を把握することにも役立ちます。センター独自の項目を設定することも可能です。

[相談票画面]

記録・カスタマイズしやすい相談票

2 検索機能

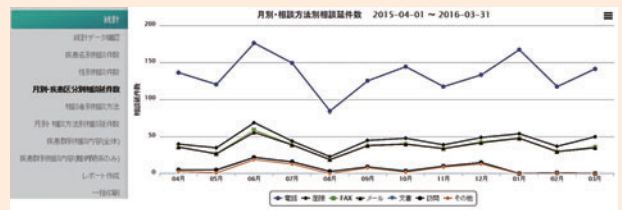
保存された相談票は、相談者、記録者、疾患名、日付などから検索することができます。同じ相談者からの継続相談時に活用したり、センター内での情報共有にも役立ちます。今後はセンター間での相談票共有も行う予定です。

[検索画面]

様々な条件で簡単検索!

3 ワンクリック統計処理

月別の疾患ごとの集計や、相談区分ごとの集計がワンクリックで行えます。また相談票のデータはエクセル形式でダウンロードが可能ですので、センター独自の統計も自由に行うことが可能です。



[統計画面]

ワンクリックで様々なグラフを簡単作成!
レポート作成もらくらく!

4 センター間交流掲示板システム

対応困難事例の相談を行ったり、講演会や研修会開始の情報交換・共有ができます。また難病情報センターから最新の行政情報なども周知されます。

[掲示板文言画面]

全国で共有します。連絡、相談等に活用してください